



THE REPORT OF THE MIE DENTAL ASSOCIATION

三重 歯 会 報



◆18年度歯と口の健康週間

三重県審査の結果／郡市歯会レポート

◆第16回定時代議員会

◆第4回三重県警察医研修会

◆第7回医科・歯科連携推進人材養成研修会

◆18年度歯科衛生士研修会／歯科助手講習会



公益社団法人
三重県歯科医師会
<http://www.dental-mie.or.jp/>

2018
89
No. 693

| | |
|--|----|
| 2018年度歯と口の健康週間 三重県審査の結果 | 1 |
| 2018年度歯と口の健康週間 郡市歯科医師会レポート | 6 |
| 2018年度歯科衛生士研修会 | 12 |
| 2018年度歯科助手講習会 | 14 |
| 第7回医科・歯科連携推進人材養成研修会 | 16 |
| 2018年度三重県警察歯科医会定期総会／第4回三重県警察医研修会 | 17 |
| 2018年度第3回理事会（生涯研修セミナー／サテライト研修実施へ） | 18 |
| 2018年度第2回郡市会長会議（19年度の歯科保健大会は松阪で） | 20 |
| 第16回定時代議員会（保健衛生賞表彰／17年度決算を承認） | 24 |
| 2018年度第4回理事会 （次年度に向けた県行政への要望について協議） | 27 |
| 2018年度MDAセミナー／日歯・堀会長が特別講演 | 29 |
| 医療管理（クレジットカードなどで支払った場合の税務の取扱い） | 30 |
| <hr/> | |
| 6月・7月会務日誌 | 31 |
| 会員消息／新入会員プロフィール | 32 |
| 告知板（第5回女性歯科医師の集い） | 36 |
| 互助会の現況 | 37 |
| 三重県歯国保組合&協同組合NEWS | 38 |
| 国保組合の現況 | 39 |
| 編集後記 | 40 |

2018年度 歯と口の健康週間

三重県審査の結果

親と子のよい歯のコンクール

| 最優秀 | 田中紗矢佳 | 優衣 | 伊賀 |
|-----|-------|----|------|
| 優秀 | 伊藤香江 | 隼汰 | 桑員 |
| 〃 | 池田奈月 | 琥珀 | 四日市 |
| 〃 | 近藤郁 | 結月 | 鈴鹿 |
| 〃 | 吉岡優子 | 和真 | 亀山 |
| 〃 | 松下航平 | 直樹 | 津 |
| 〃 | 森山沙苗 | 結斗 | 松阪 |
| 〃 | 細田多絵 | 理桜 | 伊勢 |
| 〃 | 錦戸良佳 | 初佳 | 鳥羽志摩 |
| 〃 | 宮原さつき | 蒼翔 | 尾鷲 |
| 〃 | 市野さくら | 妃桜 | 南紀 |



よい歯の児童生徒 審査表彰

| 最優秀 | 三宅萌々夏 | 松阪市立第四小学校 | 松阪 |
|-----|--------|-------------|------|
| 優秀 | 岩崎絢音 | 桑名市立星見ヶ丘小学校 | 桑員 |
| 〃 | 田中向日葵 | 四日市市立三重西小学校 | 四日市 |
| 〃 | 桐生彩 | 鈴鹿市立河曲小学校 | 鈴鹿 |
| 〃 | 上田悠翔 | 亀山市立亀山西小学校 | 亀山 |
| 〃 | 谷くれは | 津市立一志西小学校 | 津 |
| 〃 | 小久保りずむ | 伊勢市立御園小学校 | 伊勢 |
| 〃 | 高田葉夏 | 志摩市立大王小学校 | 鳥羽志摩 |
| 〃 | 田中美麗 | 尾鷲市立尾鷲小学校 | 尾鷲 |
| 〃 | 西妃佐喜 | 熊野市立有馬小学校 | 南紀 |
| 〃 | 波田わかば | 伊賀市立壬生野小学校 | 伊賀 |



受賞の言葉：親と子のよい歯のコンクール最優秀

田中紗矢佳さん・優衣さん

私が歯の健康について意識するようになったのは、定期健診で通っている歯科医院で歯磨き指導を受けたことがきっかけでした。それまでの私は、歯石が多く歯ぐきが炎症を起こす等、口内環境は良いと言える状態ではありませんでした。

歯磨き指導を受け、教わったとおり磨くと、みるみるうちに炎症が治まり、次の健診までに劇的に口内環境が良くなったのです。「歯の磨き方一つでここまで変わるとは」と驚き、「これからは気を付けなければ、そして将来子どもが産まれたらおし歯にならないよう出来るだけのことをしなければ」と心に誓いました。

そして娘が生まれ、我が子への歯の健康対策は始まりました。歯が生え始めた頃は毎食後、必ずガーゼで汚れを拭き取り、乳歯が生え揃ったあたりから朝晩の歯磨きを開始しました。仕上げの歯磨きは、歯科医院で教わったとおり、歯ブラシは鉛筆持ちで、歯を一本一本円を描くようにクルク

ルと磨いていきました。イヤイヤ期には磨かせてくれないこともあり、その時は「お誕生日ケーキが食べられなくなるよ」と言いました。するとケーキが大好きな娘は「嫌だ」と言って磨かせてくれました。

以上が私の行った歯の健康対策ですが、娘の食の好みも、彼女の歯を健康に保つことができた要因の一つと言えます。娘は、ケーキは大好きですが、チョコレート等その他の洋菓子は好きではなく、噛みごたえのある煎餅や煮干しを好んでよく食べています。どちらかというと洋菓子が好きな私は、見習わなければと思いました。

今回このような賞をいただいて、親子ともども大変驚き、また嬉しく思いました。歯の健康を保つことは一生続けていくべきことです。これからも歯の健康に対する意識を高めていきたいと思えます。

親と子のよい歯のコンクール／よい歯の児童生徒 審査表彰：審査委員

三重県医療保健部健康づくり課主任

奥野ゆたか

三重県教育委員会事務局保健体育課充指導主事

柚木 歩

三重県歯科医師会副会長

羽根司人

三重県歯科医師会常務理事

福森哲也

三重県歯科医師会理事

伊東 学

三重県歯科医師会理事

新 達也

三重県歯科医師会理事

伊藤法彦

三重県歯科医師会公衆衛生委員

二之宮洋平、佐野乃里江、市場正訓、久保田幸伸、中藤 健、大西薫児、富田 薫、山本英志、東 千尋、前川守司、内田準子

歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール

[幼稚園]



| 最優秀 | 宮間リリ子 | 明倫幼稚園 | 5歳 | 伊勢 |
|-----|-------|----------------|----|-----|
| 2位 | 山里龍叶 | 亀山市立井田川幼稚園 | 5歳 | 亀山 |
| 〃 | 太田華 | 松阪市立豊地幼稚園 | 5歳 | 松阪 |
| 3位 | 小熊春菜 | 四日市市立羽津幼稚園 | 5歳 | 四日市 |
| 〃 | 中村優 | 津市立川合幼稚園 | 5歳 | 津 |
| 佳作 | 佐藤杏美 | マリア・モンテッソーリ幼稚園 | 5歳 | 桑員 |
| 〃 | 吉岡優太郎 | 鈴鹿市立玉垣幼稚園 | 5歳 | 鈴鹿 |
| 〃 | 依田莉愛奈 | 伊賀市立桃青の丘幼稚園 | 5歳 | 伊賀 |

[小学校低学年]



| 最優秀 | 尾崎龍真 | 紀宝町立神内小学校 | 1年 | 南紀 |
|-----|------|-------------|----|------|
| 2位 | 岡村陽士 | 木曾岬町立木曾岬小学校 | 2年 | 桑員 |
| 〃 | 山下芭那 | 伊勢市立有緝小学校 | 2年 | 伊勢 |
| 〃 | 刘世杰 | 紀北町立赤羽小学校 | 1年 | 尾鷲 |
| 3位 | 三村希実 | 鈴鹿市立若松小学校 | 2年 | 鈴鹿 |
| 〃 | 穴原悠衣 | 亀山市立川崎小学校 | 1年 | 亀山 |
| 〃 | 椿千依 | 志摩市立東海小学校 | 2年 | 鳥羽志摩 |
| 佳作 | 安川慧 | 四日市市立神前小学校 | 3年 | 四日市 |
| 〃 | 寺部蓮禾 | 津市立美杉小学校 | 3年 | 津 |
| 〃 | 森本絢斗 | 明和町立下御糸小学校 | 2年 | 松阪 |
| 〃 | 親川海翔 | 伊賀市立新居小学校 | 1年 | 伊賀 |

[小学校高学年]



| 最優秀 | 三山千尋 | 亀山市立亀山南小学校 | 5年 | 亀山 |
|-----|-------|--------------|----|------|
| 2位 | 皆川七奈子 | 四日市市立大谷台小学校 | 4年 | 四日市 |
| 〃 | 宮地莉々華 | 紀北町立西小学校 | 6年 | 尾鷲 |
| 〃 | 仮屋玲茉 | 熊野市立金山小学校 | 6年 | 南紀 |
| 3位 | 藤田喬郁 | 鈴鹿市立深伊沢小学校 | 6年 | 鈴鹿 |
| 〃 | 小泉萌伊 | 松阪市立第一小学校 | 6年 | 松阪 |
| 〃 | 福永あかる | 名張市立すずらん台小学校 | 5年 | 伊賀 |
| 佳作 | 寺田亮太 | 桑名市立大山田西小学校 | 4年 | 桑員 |
| 〃 | 谷泰羽 | 津市立倭小学校 | 5年 | 津 |
| 〃 | 中世古那奈 | 大紀町立大紀小学校 | 5年 | 伊勢 |
| 〃 | 小崎秀明 | 鳥羽市立弘道小学校 | 6年 | 鳥羽志摩 |

[中学校]



| 最優秀 | 服部日和 | 桑名市立陵成中学校 | 3年 | 桑員 |
|-----|-------|-------------|----|-----|
| 2位 | 梅本芽唯 | 鈴鹿市立白子中学校 | 3年 | 鈴鹿 |
| 〃 | 奥 咲来 | 紀宝町立矢湫中学校 | 2年 | 南紀 |
| 3位 | 川村心咲 | 松阪市立西中学校 | 3年 | 松阪 |
| 〃 | 林 美佑 | 紀北町立三船中学校 | 2年 | 尾鷲 |
| 佳作 | 宮本彩裕美 | 四日市市立笹川中学校 | 3年 | 四日市 |
| 〃 | 河村柚花 | 亀山市立亀山中学校 | 3年 | 亀山 |
| 〃 | 西村優希 | 伊勢市立伊勢宮川中学校 | 3年 | 伊勢 |

[特別支援学級・学校]



| 最優秀 | 西田十和 | 尾鷲市立宮之上小学校 | 2年 | 尾鷲 |
|-----|------|-------------|----|-----|
| 2位 | 澤田晃佑 | 亀山市立白川小学校 | 4年 | 亀山 |
| 〃 | 澤 岳 | 名張市立百合が丘小学校 | 1年 | 伊賀 |
| 3位 | 藤田悠誠 | 四日市市立海蔵小学校 | 2年 | 四日市 |
| 〃 | 高岡辰斗 | 津市立美杉小学校 | 2年 | 津 |
| 佳作 | 大西壮太 | 鈴鹿市立合川小学校 | 1年 | 鈴鹿 |
| 〃 | 門田 花 | 伊勢市立明野小学校 | 2年 | 伊勢 |
| 〃 | 鍋矢善幸 | 三重県立聾学校 | 1年 | |

[高等学校]

応募なし

審査講評

四日市市立四郷小学校 校長・福島孝直

園児・児童・生徒が生涯にわたって歯・口を大切にすることを目的に実施されている当コンクールに、今年度も県下各地の39園・336校の幼稚園児・小学生・中学生から7,020点の作品応募がありました。各地区から推薦された県審査の作品は、歯と口の健康について考え、むし歯予防や歯磨き習慣の定着を図るために、気づいたことや伝えたいことを子どもの視点から表現された力作ばかりでした。審査員一同、

一人ひとりの気づきや思いを大切にし、子どもらしさ、そして個性や表現の工夫に注目して審査を行いました。

幼稚園の作品は、口を大きく開けた自分の顔を表現した作品が多く、のびのびと描かれ、微笑ましい雰囲気作品ばかりでした。最優秀の宮間り子さんの作品は、明るくカラフルな色調で楽しく表現されており、宮間さんが毎日大きな口を開け、丁寧に歯を磨いている様子が想像できました。

2位・3位の作品は、顔や口を画面いっぱい、表情豊かに描けた作品でした。

小学校低学年の作品は、豊かな表情で一生懸命に歯を磨く作品が多く見られました。最優秀の尾崎龍真さんの作品は、歯ブラシを上歯用に持ち替えて、歯磨き粉を泡立てながらがんばって歯を磨く様子が描かれています。2位・3位の作品は、構図や効果的な絵の具の使い方を工夫し、歯の並びがしっかり描けていました。

小学校高学年の作品は、ポスターが多く、それぞれがテーマに合った図柄や文字を効果的に入れ、様々な視点で描いた作品揃いでした。最優秀の三山千尋さんの作品は、顔や文字の配置が巧みで、文字の縁取りの色まで考えて描かれていました。2位・3位の作品は、色の使い方に工夫が見られ、見ている側が笑顔になるような素敵な作品でした。

中学校の作品は、豊かな発想力と高い表現力、丁寧な仕上がりに加え、個性的な作品揃いでした。

最優秀の服部日和さんの作品は、全体の色使いがよく考えられていました。3人の男の子は同一人物で、日々成長していく様子を同じ歯磨きポーズで表現し、小さい頃から毎日欠かさず歯を磨く習慣の大切さがよく伝わってきました。2位・3位の作品は、色使いや塗り方の技法を効果的に取り入れ、豊かに表現されていました。

特別支援学級・学校の作品は、楽しく歯磨きをする様子がよく伝わる作品でした。最優秀の西田十和さんの作品は、歯磨きの表情がとても個性のかつ豊かで、歯を一本一本丁寧に仕上げていました。2位・3位の作品は、しっかりと顔を描き、歯磨きの大切さを伝えようとした作品でした。

今年度は、高等学校の応募はありませんでした。

これからも、歯と口の健康づくりに関心を持ち、豊かな発想や子どもらしいのびのびとした表現で作品を描くことを通し、「歯と口の健康」を守る運動がより一層広がることを願い、講評とします。

歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール審査委員

松阪市立豊地幼稚園園長
四日市市立四郷小学校校長
三重県教育委員会事務局保健体育課主幹
三重県歯科医師会常務理事
三重県歯科医師会理事
三重県歯科医師会理事
三重県歯科医師会理事

瀬古久美子
福島孝直
田中巧一
福森哲也
伊東 学
新 達也
伊藤法彦



2018年度 歯と口の健康週間

郡市歯科医師会レポート



「のぼそよ 健康寿命 歯みがきで」をテーマに掲げた今年度の「歯と口の健康週間」。三重県での事業は例年、「親と子のよい歯のコンクール」「よい歯の児童生徒の審査並びに表彰」「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」について県下11の郡市会単位で実施される審査及び表彰事業が中心になっており、地域ごとに厳正な審査を実施することはもちろん、受賞者にとって晴れの舞台となる表彰式が華やかで思い出深いものとなるよう、毎年

工夫が凝らされている。今年も各地で審査・表彰に併せて、市町の行政や関連多職種等と協力して歯科口腔保健に関わる啓発イベントも開かれた。以下に各地域での事業の様子を紹介する。

桑員歯科医師会



6月7日(木)、NTNシティホール（桑名市民会館）で歯と口の健康週間「よい歯のコンクール」審査・表彰式が行われました。対象者の口腔内はいずれも良好な状態で順位を付け難く、特に「親と子」では子どもたちの審査ではほとんど差がつかず、親の審査結果が成績を左右することになりました。「歯・口の健康に関する図画・ポスターコ

ンクール」には幼稚園から特別支援学級まで、60名を超える出展がありました。図画は多彩な色をバランスよく使った塗り方で、歯がよく観察されている作品、ポスターは色の塗り方、歯や文字の配置に工夫を凝らした構図の作品が選ばれました。

選考の待ち時間には恒例の伊藤専務理事によるバルーンアートのプレゼントが行われました。表彰式では、岩田副会長が講評の中でウィストン・A・プライス博士の『食生活と身体の退化』を紹介。食生活と栄養のあり方について提言しました。日展会友・杉田幸平氏からは図画・ポスターについての講評があり、最後に星野会長より優秀者に表彰状とトロフィー、賞品が授与されました。これからも、こうしたイベントを通じて口腔衛生に関する知識の普及に寄与できればと思います。

(取材：岡本正人)

四日市歯科医師会



5月24日(木)、四日市歯科医療センターで「親と子のよい歯のコンクール」「よい歯の児童生徒」の審査を行いました。「親と子のよい歯のコンクール」は、公募に応じた10組の親と子の口腔内審査を行い、最優秀賞1組、優秀賞2組を選出しました。「よい歯の児童生徒」の審査は、四日市市及び三重郡の各学校から歯科健診で1名ずつ選出

された小学6年生47名、中学3年生29名を対象に実施し、各部門につき最優秀賞1名、優秀賞4名を選出しました。「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」の審査は、各園・校で選出した幼稚園11点、小学校164点、中学校12点の中から最優秀賞と優秀賞を選出しました。毎年、最優秀賞作品を歯科衛生啓発活動のポスターに使用しています。

6月7日(木)には四日市市総合会館で各部門の最優秀賞・優秀賞受賞者の表彰式を開催。四日市市長、市議会議長ら多数の来賓の出席の下、賞状及びメダルを贈呈しました。また、学校教育の場で永年にわたり口腔衛生指導に熱心に取り組まれてきた養護教諭2名に、四日市歯科医師会から口腔衛生賞が贈られました。

(取材：切通正智)

鈴鹿歯科医師会



6月7日(木)、鈴鹿市保健センターで、鈴鹿市と鈴鹿歯科医師会等の合同事業として「歯と口の健康週間事業」が実施されました。当日は好天にも恵まれ、321名の市民が来場しました。

鈴鹿歯科医師会主催の「いい歯の8020コンクール」には元気な高齢者28名が参加。アンケート及び厳選な口腔内審査の結果、最優秀賞と優秀賞が

選ばれました。無料歯科健診・相談コーナーでは、16テーブルに分かれて会員による口腔内診査を実施するとともに、寄せられた相談に対して懇切丁寧に対応。189名が受診しました。鈴鹿市主催の「よい歯の児童生徒」の審査・表彰では素晴らしい歯を持った子どもたちの中から最優秀賞を選出。「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」では、110点の応募作から年代別に10点の優秀作品が選出・展示されました。

表彰式では笠井会長の挨拶、小林副会長による講評、末松市長からの祝辞に続き表彰が行われました。保健センターのロビーでは歯科衛生士会主催の歯間ブラシ・デンタルフロス体験や、高齢者に対しての唾液腺マッサージ、舌筋や口周りの表情筋を鍛えるストレッチ等が行われました。

(取材：榮孝二)

亀山歯科医師会



6月7日(木)、亀山市総合福祉センター及び関健康センターで、亀山歯科医師会会員・スタッフに加えて県職員のサポートを受けて「親と子のよい歯のコンクール」等が実施されました。

「親と子のよい歯のコンクール」では、456名の対象者から選ばれた9組18名を審査。表彰式では、亀山市・櫻井義之市長より昨年度から無料歯周病

検診の対象者を30～70歳までの5歳間隔に拡大したこと等の報告があった後、最優秀賞の吉岡優子さん・和真さん親子と優秀賞8組の表彰と記念撮影が行われました。生川会長は講評の中で、食生活の大切さと歯肉に対するケアの必要性を伝えました。コンクールの待ち時間にはアンケートを実施。参加した親子からは、貴重な経験談や、仕上げ歯磨きが難しい時期の対処法や悪習慣への対応等についての相談等が寄せられました。

「フッ素塗布・無料歯科健診・歯科相談」にも100名を超える市民が訪れ盛況となりましたが、昨年度の反省を踏まえて健診・相談ブース等の増設や動線の改善を図ったことが功を奏し、スムーズに運営できました。

(取材：山田敏彦)

津歯科医師会



6月10日(日)、津リージョンプラザで第30回「歯の健康展」を開催しました。今にも雨が降り出しそうな曇り空の下でしたが、300名を超える市民が来場し、会場は大賑わいでした。

コンクールイベントとしては、午前には「よい歯の児童生徒」「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」、午後には「いい歯の8020コン

クール」「親と子のよい歯のコンクール」の審査・表彰が行われました。歯科医師会のブースでは、歯科健診や口腔がん検診、歯の矯正やお口の悩み等に関する歯の健康相談コーナーがいずれも大盛況でした。歯科衛生士会による口腔衛生指導や歯科技工士会による石膏模型の色塗り体験コーナーは子どもたちに大人気。三重県立公衆衛生学院によるフッ化物塗布には100名を超える希望者が集まりました。栄養士会による栄養相談・血流測定、食生活改善推進協議会によるクッキー作りも人気でした。「歯の健康展」を通じて、子どもたちから高齢者まで、口腔に対する関心の高さを再認識した一日となりました。「歯の健康展」は市民と直接触れ合うことのできる貴重なイベントであり、大切にしていきたいと改めて感じました。

(取材：増井正大)

松阪地区歯科医師会



6月10日(日)、松阪地区歯科医師会と松阪市が主催する「歯と口腔の健康まつり2018」が、農業屋コミュニティ文化センター・松阪市子ども支援研究センター・クラギ文化ホール等で開催され、今にも雨が降り出しそうな天気にもかかわらず、例年同様約2千名の市民が来場しました。

午前中に80歳以上のよい歯自慢「歯っぴいライフコンクール」及び幼稚園、小・中学校の「よい

歯のコンクール」の最終審査を実施し、続けて表彰式も行いました。昨年までは午後に行っていたのですが、受賞者の待機時間短縮を図るため今年から変更したところ、スケジュール通り進行できました。園を挙げてフッ化物洗口に取り組んでいる「さくら保育園」の園児による歯磨きとフッ化物洗口のパフォーマンスが披露されました。これも恒例になっていますが、年々クオリティーが上がっているように見受けられました。

午後からはフッ化物塗布・洗口体験、歯科矯正治療相談コーナー、歯科技工士会・歯科衛生士会の体験ブース、薬剤師会による全国でまだ7台しかないモバイルファーマシーの展示、三重大学ジャグリングサークルのステージ等に多くの市民が参加。大型テレビが当たる大抽選会は、会場に入り切れないほどの人ばかりで大変盛り上がりました。

(取材：川村英司)

伊勢地区歯科医師会



今年も好天の下、伊勢市御薊町のハートプラザみそで歯と口の健康週間事業が行われました。会場確保の関係で例年より早い6月3日(日)の開催。審査会場棟では「親と子のよい歯のコンクール」と「よい歯の児童生徒」の最終審査をそれぞれ別室で行い、「親と子」は36組の中から最優秀組1組と優秀組2組を、「児童生徒」は児童14名、

生徒8名の中から最優秀者各1名と優秀者各2名を選出しました。80歳以上で20本以上の歯を有する方を対象とした「よい歯でいきいきコンクール」は、表彰式会場棟内の審査会場で最終審査を行い、19名の中から最優秀者1名と優秀者3名を選出しました。

審査後は表彰式会場に移動。コンクールに参加した市民には、イセシマンによるサプライズショーでひと時の団欒を過ごしていただきました。その間、裏方では広報委員による表彰状と冊子の作成が大忙しで行われました。今年から会員の役割分担を大幅に変更したこともあり多少のドタバタがありましたが、各自の臨機応変な対応もあり、今年も無事に事業を終えることができました。

(取材：井上 理)

鳥羽志摩歯科医師会



6月6日(水)、「よい歯のコンクール」の審査を行いました。

「親と子のよい歯のコンクール」「よい歯の児童生徒」とともに、健診の段階で各担当者が口腔内の審査結果を詳細に書類へ記入。表彰候補者に関しては健診時に口腔内写真を撮影し、審査資料に

加えました。6日の審査では、実行委員会のメンバーが書類によりさらに候補者を絞り込んだ後、健診担当者の意見を交えて最終選考を行いました。「児童生徒」の最優秀候補者は、どの子どももむし歯や治療痕がないのはもちろん、歯列や咬合にも大きな差はなく、甲乙つけ難い状態でした。「親と子」では、例年通り子どもだけでは大きな差がつかなかったため、親の口腔内状態の違いにより最優秀が決定されました。

志摩市の受賞者に対しては市長公室で市長・教育長による表彰式が行われ、鳥羽市の受賞者は鳥羽市主催の健康祭り「ひだまりフェスタ」の中で表彰式が行われる予定です。いずれも市の広報誌やケーブルテレビ等を通じて広報していきます。

(取材：錦戸 崇)

尾鷲歯科医師会



6月7日(木)から19日(火)、紀北町相賀の海山公民館で「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」の紀北地区特選・入選作品展が開催されました。コンクールには小学校17校と中学校5校から884点の応募があり、特選4点と入選50点が選ばれました。特選は赤羽小学校1年の刘世杰さん、西小学校6年の宮地莉々華さん、三船

中学校2年の林 美佑さん、宮之上小学校2年の西田十和さんと、7月5日(木)の県審査に参加しました。

(取材：多湖 準)



南紀歯科医師会



6月7日(木)、熊野市文化交流センターで「よい歯の児童生徒」と「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」の審査が行われました。午前中に美術教諭等による図画・ポスターの審査が行われ、地区代表作品を選出。各賞を受けた作品は、同センターロビーに1週間にわたり展示されました。午後の「よい歯の児童生徒」には紀南地

方の小学校10校、中学校9校から選ばれた児童・生徒が参加。審査の結果、有馬小の西妃佐喜さん、有馬中の大江陽菜さんが最優秀に選ばれました。齋藤会長は挨拶の中で、むし歯は減少傾向にあるとしたうえで歯列不正が目についたことを指摘。日頃からの咀嚼習慣に気を配るよう呼び掛けました。前川理事は、審査対象者は甲乙つけ難かったと報告し、「賞に入れなかった人も胸を張り、母校のお手本となって頑張ってください」と講評しました。同日、熊野市福祉健康センターで「親と子のよい歯のコンクール」を開催。4組の中から市野さくらさん・妃桜さん親子が地区代表に選ばれました。両審査の様子は地方紙に掲載された他、「よい歯の児童生徒」の審査の様子がケーブルテレビで繰り返し放映されました。

(取材：相野孝次)

伊賀歯科医師会



6月10日(日)、名張市教育センターで「よい歯のコンクール」が開かれました。今年は新たに市民講座と併せての開催としたため、コンクール参加者や市民講座受講者の待ち時間なるべく短くなるよう配慮した運営となりました。参加者には早めの来場を促し、到着次第、各部屋に分かれて審査。全員揃った時点で審査員の合議により最優秀・優秀賞を決定しました。

市民講座では、村田会長による開催の挨拶の後、松本卓也・内田準子両会員による「災害時の口腔ケア」と題した講演の他、名張木管アンサンブルによるフルート演奏が披露されました(これに先立ちエントランスでロビーコンサートも行われました)。

その後、名張市長による挨拶に続き、「親と子のよい歯のコンクール」の最優秀者及び優秀者の表彰が行われました。最優秀者には市長から、優秀者には村田会長から、それぞれ賞状と記念品が授与されました。「よい歯の児童生徒」の最優秀者・優秀者の表彰及び「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」の表彰では、村田会長及び名張市教育委員会・上島和久教育長より賞状・記念品の授与が行われました。最後に上島教育長が閉会の言葉を述べ、盛会の内に閉幕しました。

(取材：村井 玄)

2018年度 歯科衛生士研修会

2018年6月10日（日）

三重県歯科医師会館



本研修会は三重県下歯科衛生士の資質向上を目指して2012年度から開催されているもので、今年度はClear Communication代表で、歯科衛生士の資格を持つ藤田菜穂子氏が「歯科医院の心をつなぎ行動を引き出すコミュニケーション講座」と題して講演。県内に勤める71名の歯科衛生士が受講した。

藤田氏は歯科衛生士専門学校を卒業、ライオン歯科衛生研究所で公衆衛生業務に従事した後、都内の歯科診療所に勤務。人材育成に携わる中でコミュニケーションの重要性を感じ、現在はパラダイムシフトコーチングの第一人者として、医療・介護・福祉現場、看護学校等でアドバイザースタッフ・講師等を務めている。講演では「魔法の一言は存在せず、患者の数だけコミュニケーションがある」と述べ、マニュアル化された会話には意味がなく、目の前にいる患者さんとコミュニケーションを取るという「あるべき姿」が語られた。研修自体もそれを実践するように、スライドはほとんど使わず、実習を通して経験するものばかりだった。

医療の現場では、歯科医師や歯科衛生士、患者やその家族等、関わる者全てが「良くなりたい」

と同じ方向を向いて同じ結果を求めているにもかかわらず、どこかでズレが生じ、違う方向を向いたり、時には争ってしまっていることがある。患者は診療所で、不安や恐怖から感情に支配され物事が正しく扱えなくなる状態「アップセット」に陥り、正しいコミュニケーションが取れなくなっていることが少なくない。この状態では、お互いに「ああ言えばこう言う」という平行線の会話が繰り返されてしまう（講師はこれを「あんぼんたんサイクル」と呼んだ）。この状態に陥らないためには、相手の気持ちを受け取り、「ただ聴く」ことが大切で、相手に寄り添うこと（be with）により安心感が導かれ、信頼関係が作られるという。また、「アップセット」から抜け出して「オプティマル(最上)」な状態に戻るための方法として「クリアリング」が推奨される。クリアリングでは、自分の身体感覚や、自分の中に湧いてくる気持ち・イメージ等を言葉に出し、他人に「ただ受け取って」もらう。そうすることで感情にとらわれず、現実を正しくつかみ、適正な行動が取れるようになる。

私たちの現場では、歯科医師や歯科衛生士が忙しさに追われるあまり、しっかりと患者に向き合っていなかったり、患者もまた恐怖心や痛み等から本音を語っていなかったりという齟齬が生じがちだ。それでは同じゴールを共有することは難しい。本来はより近くで寄り添い、同じゴールを目指すべきで、そのために必要なのが「本音のコミュニケーション」である。私たちが患者の言葉から気持ちを汲んで受け取らなければ、両者の間に信頼関係が生まれにくいことを肝に銘じたい。

（理事・桑名良尚 記）

受講者体験記

東 翔子さん（津・（医）昭友会 中嶋歯科医院）

私は、今回のコミュニケーションセミナーを受講したことで、患者さんに対してどのように接したらよいか少し分かったような気がしました。

私は4月に勤務し始めたばかりの新人です。患者さんとお話するときも、まだまだ緊張してしまい、うまく会話を広げることができません。先日も、私が患者さんをチェアに誘導し「お変わりはございませんか」と尋ねた時には「特にないです」というお返事だったのに、先輩の歯科衛生士が様子を伺うと「実はこの前…」と気になっていたことを話し始めたことがありました。まだまだ私は患者さんの気持ちに寄り添えていなかったのだなと感じ、どう接したらよいか思い悩んでいたところでした。そんな時、このセミナーで初めて“be with”という技法を知りました。患者さ

んとただ一緒にいるだけではなく、心も一緒にいる、同じ時間を共にする、そんな“be with”が私はできていなかったんだなと感じました。自分のことにいっぱいいっぱい、患者さんに対して親身になって寄り添えていなかったのです。これからは、患者さんが本当に伝えたいこと、聴いて欲しいことを理解できるよう、時には黙ってうなづくことや、勝手な解釈をせずに会話が広がるような配慮を心掛けたいと思いました。

時間は掛かるかもしれませんが、少しずつ患者さんに寄り添えるようになって、先輩のような患者さんが心を開いてくれる歯科衛生士になりたいです。まだ始まったばかりの歯科衛生士人生、全力で頑張っていきます。

三重県歯科衛生士会・丹羽友美会長

「歯科医院の心をつなぎ行動を引き出すコミュニケーション講座」を受講させていただきました。私たちが日常の勤務で患者さんとのやり取りの中からTBIをしていても成果が見られない、予約時間にお越しただけでない、メンテナンスに繋がられない等、患者さんに言葉が届いていなかったり、優先順位が後回しにされていたりすること等は少なくありません。その様な日々の悩みを抱える者として今回の講座に期待して臨みましたが、講師の先生が歯科衛生士ということもあってとても身近に感じられ、熱のこもった話術にすぐさま引き込まれました。

講義では、人や組織の行動を阻む「パラダイム」について説明していただきました。ここで言う「パラダイム」とは、普通にやれば結果が出るのにそれをやらないようにしてしまう価値観の枠組みを

指し、「他人事と思う」結果、「やらない価値観」の枠組みに陥り、結果として行動に移さないことになってしまうとのこと。また、私たちがしばしばやってしまいがちなのですが、「何でしないの？」という問い掛けが相手に「できていないことを責められている」という印象を与えてしまい、それに反発して自分を正当化する反応を呼んで、結果として「あんぼんたんサイクル」ができあがってしまうという指摘も印象的でした。こうなってしまうと話が解決に向かわないので、いったん会話を打ち切って流れを変えた方が良い場合もあることも知りました。しゃにおに「何とかしよう」と解決策を考えることより、時には黙って受け入れることの大切さ、「be with」しながら「クリアリング」して心に余裕を作ることが大切なのかなと感じました。

2018年度 歯科助手講習会

2018年5月13日（日）
5月20日（日）
5月24日（木）
6月3日（日）
三重県歯科医師会館

第1日目：5月13日（日）



恒例の歯科助手講習会。初日となるこの日は、

冒頭に早川副会長が参加者56名に対して挨拶。歯科助手の仕事は人に接する職業であり、常に愛情といたわりの気持ちを持つことが重要であると説いたうえで、4日間で学ぶ内容を日々の診療に活かして欲しいと激励した。その後、県歯・橋本理事が講師を務め、午前は歯学概論として、歯科助手の心得や仕事の内容、院内感染予防の基礎知識について、午後は歯科診療の基礎知識として、歯の種類と構造や診療器具、救急救命の必要性について解説。受講者は熱心に耳を傾けていた。

第2日目：5月20日（日）



2日目となるこの日は、午前は川瀬理事が「保険診療の仕組み」と題して▽医療保険の種類▽受付業務のQ&A▽公費負担医療制度▽助成制度―等、歯科診療所の受付業務に必要な知識について講義。特に三重県が現物給付化に向けて動き出した子ども医療費助成制度について詳しく解説した。午後は(有)エイチ・エムズコレクションの安川



裕美氏が「歯科助手の心得と一般教養・品格が高まる歯科助手のお仕事～すべては患者さんのために～」と題して講演。▽接遇マナーの5原則▽会話の基本▽電話接遇のポイント▽受付業務の心得―等について解説した他、頭を下げる角度によって使い分ける「会釈・敬礼・最敬礼・目礼」等については実技演習も交えての指導が行われた。

第3日目：5月24日（木）



3日目には救急救命及び材料の取扱いに関する実習が行われた。津市中消防署の救急救命士3名が講師となった普通救命講習では、救急蘇生の胸骨圧迫・人工呼吸・AEDの使い方について実習。安全確保から始まり、意識の確認、119番通報とAEDの手配、気道確保と呼吸の確認、心臓マッサージ等、救急車が到着するまでの8分間にできる心肺蘇生について学んだ。歯科診療所でも全身疾患を有する高齢者が増加している現在、チーム



ワークで偶発症に対応するためにも幅広い知識の習得が期待される。歯科材料の取扱いについては、(株)ジーシーの歯科衛生士及び材料担当者と医療管理委員が講師を務め、▽シリコン印象▽即時重合レジン of 取扱い▽アルジネート印象・石膏練和及び注入▽セメント練和一等について実習。実際に歯科材料を扱うことにより、材料の性質や特性を理解し、レジンの硬さや臭いも含めて患者の感覚も体験する機会となった。

第4日目：6月3日（日）



最終日となるこの日は、午前「歯科診療の実際 ①」として、全身管理・口腔外科（高血圧・糖尿病・虚血性心疾患・外科処置）について橋本理事が、保存修復・ホワイトニング（修形・充形・ホワイトニングの方法）について近藤委員がそれぞれ解説。午後は「歯科診療の実際 ②」として、インプラント・補綴（補綴物の種類・作製方法・インプラントの特徴と埋入術式）について飯田委



員が、歯周病（分類と治療方法）について井上委員が、歯科矯正（不正咬合の種類・検査・1期と2期治療）について稲森委員が実際の症例を示しながら詳細に解説した。実践的な内容ということもあり、受講者は演者の一言一言をノートする等、熱心に聴講する様子が見られた。最後に早川副会長から受講者代表に履修証書が渡され、今年度の歯科助手講習会全日程を終了した。

第7回医科・歯科連携推進人材養成研修会

2018年7月1日（日） 三重県歯科医師会館

7月1日(日)、三重県医科歯科連携推進人材養成事業に係る研修会が開かれた。今回は「薬剤関連顎骨壊死のマネジメント」がテーマ。冒頭、主催者を代表して三重大学医学部附属病院がんセンターの中瀬一則センター長、後援者として三重県医療保健部の田丸智巳医療政策総括監がそれぞれ挨拶。続いて一般演題として、三重大学医学部附属病院薬剤部・医療安全管理部の水谷榮梨氏がビスフォスフォネート(BP)製剤について、三重中央医療センター歯科口腔外科の歯科衛生士・鋤崎文子氏が三重中央医療センターにおける薬剤関連顎骨壊死の管理について講演した。水谷氏はBP製剤の歴史から作用機序、骨粗鬆症治療薬としての有効性の評価について詳述。鋤崎氏は同医療センターにおけるBP製剤使用患者の管理（医科主治医との連携、原疾患を理解したうえでの口腔内管理法）を歯科衛生士の視点から説明した。



教育講演では「薬剤関連顎骨壊死－わかっていること、わからないこと」と題して三重大学大学院医学系研究科 口腔・顎顔面外科学の新井直也教授が講演。顎骨壊死検討委員会ポジションペーパー2016について解説し、MRONJの発生原因・治療法については医学的エビデンスが十分ではな

い現状を説明。MRONJを引き起こさないために、経口薬の問診だけでなく注射薬の問診も必要になっていると指摘した。



最後に「骨粗鬆症診療の重要性と留意点について」と題して三重大学大学院医学系研究科 運動器外科・腫瘍集学治療学の須藤啓広教授が特別講演。須藤氏は骨粗鬆症患者の特徴として、①患者数の多さ（日本で1,280万人）②骨折を起こす ③次々と骨折する ④要介護になる ⑤生存率が低い ⑥治療率が低い一等を挙げ、治療の必要性が高いことを説明。またBP製剤や抗RANKL抗体製剤（デノスマブ）の使い分け、休薬のリスクを海外の文献を含めて提示した。

質疑応答の中で、顎骨壊死を起こす可能性のある薬剤を処方する前に医師から患者に歯科受診を勧めるよう求める声が上がったのに対し、須藤氏も医師側への周知に前向きな姿勢を示した。歯科医師側も薬剤の効用と特性を理解し、患者が過剰に薬剤を忌避することがないように配慮しながら、可能な範囲で顎骨壊死のリスクを回避するために、より緊密な医科歯科連携の体制の構築が必要であることを改めて確認する研修会となった。

（理事・伊藤法彦 記）

2018年度三重県警察歯科医会定期総会／第4回三重県警察医研修会

2018年7月29日（日） プラザ洞津



7月29日(日)、三重県警察歯科医会の18年度定期総会が開かれた。今年は6月の大阪府北部地震や7月の西日本豪雨等の災害が相次いでいるが、この日も前夜に台風12号が三重県に上陸し、暴風等による被害も報告される中での開催となった。冒頭の挨拶に立った三重県警察歯科医会・辻哲会長は西日本豪雨で歯科所見による身元確認が11件あったことに触れたうえで、三重県でもこうした事態を想定した災害対応体制を整備するために、熊谷理事を中心に郡市会単位での研修を進めていることを報告し、引き続き協力を求めた。議事では、17年度事業報告及び決算、18年度の会費並びに事業計画及び予算に関する議案が上程され、いずれも原案通り可決された。警察歯科医活動用ベストの配備を進める他、2年ぶりに実践的な歯科所見による身元確認訓練を開催する方針で12月2日(日)に津南署の施設で実施する予定。総会の後半には警察歯科医会の熊谷理事と浜瀬理事が歯牙鑑定を行った事案3件について、鑑定の様子を記録した動画も交えて報告した。

総会終了後、同会場で医科の警察医も加わって三重県医と三重県歯の共催による第4回三重県警察医研修会が開かれた。三重県警・難波本部長、三重県医・松本副会長、三重県歯・田所会長が



来賓として挨拶し、それぞれ1986年から続く医科・歯科揃っての警察医研修の意義を強調した。

研修では、まず三重県警察本部刑事部捜査第一課・須川佳男首席検視官が「大規模災害における死体取扱業務～東日本大震災出動を顧みて～」と題して、自身が参加した東日本大震災時の広域緊急援助活動について報告。宮城県石巻市及び東松島市の遺体安置所における身元確認業務の実際について多くの画像を供覧し、改めて未曾有の大災害であったことを思い起こさせた。

特別講演では、長崎大学医学部法医学教室の池松和哉教授が「長崎県における死因究明の体制」と題して、2011年に長崎大学に設置された死因究明医育成センターの活動について詳しく紹介。通常は異状死体の検案は外表検査のみで終わることが多いが、同センターでは遺体専用のCTが24時間体制で稼働。死後画像診断を放射線科の専門医が読影に当たり、剖検の必要性を判断しているとのこと。毒薬物スクリーニングや生化学検査も実施され、より正確な死因究明に取り組んでいる。この他、小児の突然死に対する全例解剖や包括的DNA検査の導入、救急救命センターとの連携等、先進的な取組みが数多く紹介された。

(常務理事・太田賢志 記)

2018年度

June

第3回理事会

2018年6月7日(木)

三重県歯科医師会館

生涯研修セミナー／サテライト研修実施へ

6月7日(木)、18年度第3回理事会が開かれた。田所会長は5月25日(金)に開かれた都道府県会長会議について報告。堀会長が示した健康寿命の延伸に向けた日歯の考え方や口腔健康管理(口腔機能管理、口腔衛生管理及び口腔ケア)の整理等について解説した。学術委員会は8月19日(日)に静岡県で開催される日歯の生涯研修セミナーをライブ映像配信するサテライト研修を三重県歯会館で行う方針を提示。また、三重県歯公認スポーツデンティスト養成研修として18年1月21日(日)に開かれた17年度第2回学術研修会の内容をDVDで供覧する講習会を9月9日(日)に開催することも報告した。この他、12月9日(日)には18年度第1回医療管理講習会を日本歯科麻酔学会との共催によるバイタルサインセミナーとして開催することを決定した。

委員会事業等報告

●社会保障委員会

【事業活動】第2回社会保障委員会(5/24)

【出席会議】第19回社会保険疑義事項検討会議(5/10)、社保・国保審査委員会(歯科)歯科医師会連絡協議会打合せ(5/24)【報告事項】社保通知No.8、施設基準届出状況等

●医療管理委員会

【事業活動】歯科助手講習会(5/13・20・24、6/3)、第1回医療管理委員会(5/24)【出席会議】三重県救急医療情報センター第13回理事会(5/14)、厚労省・第1回歯科技工士の養成・確保に関する検討会(5/15)、三重県感染症対策支援ネットワーク運営会議(5/21)【報告事項】「医療広告ガイドライン」の改訂、『三歯会報』植村顧問記事(6・7月号)、BLSヘルスケアプロバイダーコース案内(10/14)、税務調査アンケートの実施、Yahoo!／Googleディスプレイ広告5月分結果報告、歯科相談(7件)【協議事項】第1回医療管理講習会(バイタルサインセミナー、12/9)、三重県感染症対策支援ネットワーク研修会の後援並びに周知(9/2)

●学術委員会

【事業活動】生涯研修セミナー／サテライト研修事前準備(静岡、5/13)【出席会議】第18回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会幹事会及び協議会(水戸、5/18)【報告事項】研修会・講習会、医薬品関連情報(HP)、生涯研修セミナー／サテライト研修(8/19)、スポーツデンティスト養成研修第1回DVD講習会(9/9)、郡市会学術研修会助成事業

●公衆衛生委員会

【事業活動】「小学生の口腔内状況と生活習慣調査」事業説明(津田小学校：5/10、暁小学校：5/15)、第23回三重県歯科保健大会第1回実行委員会、児童相談所一時保護所入所者に対する歯科健診・歯科保健指導打合せ、第11回みえ歯ートネット運営協議会(5/17)、歯と健康に関する講演及び歯科健診(三重県警察学校、5/24)、美杉中学校における歯科保健指導(5/31)、第1回食支援担当者会議(6/7)【出席会議】三重県学校保健会第1回理事会(5/10)、第1回産業保健研修会(5/17)、日歯公開フォーラム

「多職種による母子保健の推進」(5/20)、三重県学校保健会第1回評議員会(5/31)、日歯・第46回産業歯科医研修会(6/2・3)、三重県訪問看護ステーション連絡協議会役員会・総会・中央研修(6/3)【報告事項】三重県行政による新潟県フッ化物洗口視察の実施(7/19)、第2回永久歯の抜歯原因調査への協力(日歯及び8020財団)、8020運動30周年記念ロゴマーク(日歯)、親子体験教室「歯のびっくりサイエンス」チラシ、第67回三重県学校歯科衛生大会抄録、フッ化物応用研修会抄録、三重県後期高齢者歯科健診登録の継続依頼、妊婦健診啓発チラシ・ポス

ター、「糖尿病と歯周病の関連調査」協力依頼の送付【協議事項】訪問歯科マニュアル(案)、「医療・介護・福祉の地域ネットワークづくり事例集」の取扱い

●広報情報委員会

【事業活動】歯と口の健康週間報道回り(5/24)、FM三重『はぴはぴ子育て』(5/11放送、6/7収録)【報告事項】三重テレビ・高校野球インフォマーシャル(7月放送予定)

●災害時の対応・体制に関する委員会

【報告事項】SECOM登録状況(6/1現在)、三重県警察歯科医会第1回理事会(5/31)

その他の報告

1. 障害者歯科センター
スタッフミーティング(5/24)
2. 介護給付費等審査委員会(5/25)
3. 日学歯：第1回予算決算特別委員会報告(5/29)
4. がん診療医科・歯科連携
三重県がん診療連携協議会第3回医科歯科連携部会、第7回医科・歯科連携推進人材養成研修会(7/1)
5. 三重県医師会との連携
診療情報提供書様式の作成、妊婦健診における産科との連携、第2回医科・歯科合同研修会(11/18)

協議事項

1. 第24回三重県歯科保健大会の開催地等について
2. 第23回三重県歯科保健大会について



議題

- 第1号：郡市会長会議の招集並びに附議事項に関する件
- 第2号：第16回定時代議員会の招集に関する件
- 第3号：第16回定時代議員会第1号議案／17年度会計決算の承認を求める件
- 第4号：第16回定時代議員会第2号議案／収益事業部門における17年度分税申告に関する件
- 第5号：第16回定時代議員会第3号議案／歯科保健文化賞受賞者に関する件
- 第6号：18年度健やか親子21全国大会の後援等について
- 第7号：三重とこわか健康マイレージ事業特典協力店への登録について
- 第8号：三重県いじめ防止応援サポーター(仮称)への登録について
- 第9号：入会申請について／鈴木智子(鈴鹿)、三重病院(法人会員)
- 第10号：互助会入会申請について
- 第11号：互助会給付について(5/10～6/6申請分)

2018年度

June

第2回郡市会長会議

2018年6月24日(日)

三重県歯科医師会館

19年度の歯科保健大会は松阪で

6月24日(日)、18年度第2回郡市会長会議が開かれた。この日は前回に引き続いて次年度以降の三重県歯科保健大会について協議。執行部はより望ましい日程の選択及び会場確保のために、次期開催地の決定時期を従来の10月より早めることを提案。19年度の第24回大会開催地として松阪を候補に挙げた。長井会長(松阪)は松阪での開催を快諾するとともに、執行部に対して、大会運営に協力する郡市会員のモチベーション向上に努めることを求めた。この他、現在は定めのない県立高等学校の学校歯科医の任期について、学校医及び学校薬剤師に合わせて1年任期に変更することが提案され、了承された。来年度には県立高等学校の学校歯科医に解任届が出されたうえで、改めて1年任期の就任届が出される運びとなる。田所会長は5月に開かれた第126回都道府県歯会長会議や、6月15日(金)に閣議決定された「骨太の方針2018」の歯科に係る記載について報告。稲本専務理事は日歯会長予備選挙の選挙人の選出について6名の立候補者の当選が決まった旨を報告した。公衆衛生委員会は今年度の地域口腔ケアステーション設備整備事業補助金交付要領について報告。同事業を活用して嚙下内視鏡を購入する場合の研修が9月16日(日)・17日(月・祝)の両日に開催される予定。広報情報委員会は最新歯科医療実態調査の最終的な回収率が69.3%(前回65.8%)に達したことを報告。次年度事業計画策定に資するよう年内にも報告書をまとめる方針だ。

会長報告

経済財政運営と改革の基本方針2018



6月15日(金)に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)2018」について、日歯は即日プレスリリースを発売してこれに対する見解を示した。従来からの「生涯を通じた歯科健診の充実」に加え、入院患者や要介護者のみならず国民全体を対象とした口腔機能管理の推進、地域における医科歯科連携の構築が追記されており、「日歯の目指す方向性が国と共有できていることを高く評価する」としている。

一般会務報告

会員数

18年4月1日～6月22日の期間で入会13名
(うち法人会員1名)、退会1名。現会員数866

名。

日歯会長予備選挙 選挙人等の選出

候補者が定数の6名を超えなかったため、

長井雅彦氏(松阪)、村田省三氏(伊賀)、芝田憲治氏(四日市)、星野良行氏(桑員)、田口昇氏(伊勢)、鈴木晶博氏(津)の当選が決まった。

MDAセミナーの開催

7月22日(日)に三重県歯会員を対象とした全体講習会(MDAセミナー)を開催する。今回は日歯・堀会長を講師に迎えての「歯科界の明日に向けて～これまでの10年とこれからの10年～」と題した時局講演を企画した。その他、①日歯生涯研修事業 ②偶発症に対する緊急時の対応、医療事故対策に係る研修(外来環施設規準に対応) ③糖尿病と歯周病の関連調査 ④18年度診療報酬改定一等についての講習を予定

している(P.29参照)。

大阪府北部地震(6月18日(月)発生)

日歯は発災当日に災害対策本部を設置し、会員被害状況を取りまとめて報告している。三重県は6月19日(火)現在で人的・物的被害は確認されていない。他府県では兵庫県で人的被害2件、物的被害22件、奈良県で物的被害1件が報告されているが、被害の大きかった大阪府は被害状況がまだ把握できていない。

障害者歯科センター実績報告

4月診療分：診療日数8日間、件数128件、実日数147日。5月診療分：診療日数7日間、件数135件、実日数152日。

委員会事業報告

【学術】(蛭川理事)



研修会として開催。既に68名の会員が認定を受けた。今後、さらに多くの人材養成を図るために上記2回の研修を受講できなかった会員を対象にDVD講習会を開催する。第1回は9月9日(日)を予定しており、17年度第2回学術研修会として開催した内容を供覧する。

郡市会学術研修会の予定

6月24日(日)～8月30日(木)の期間に、鈴鹿・亀山・津・伊賀で学術研修会が開かれる。

【公衆衛生】(羽根副会長、福森常務理事)



18年度日歯生涯研修セミナー(東海信越地区)

東海信越地区では8月19日(日)に、Aチームによる講演が静岡県で開催される。今年度から見直された生涯研修制度では、総合認定医の条件をクリアするためには当該セミナーの受講が必須となっているため、同日に三重県歯会館でもライブ映像配信によるサテライト研修を実施する。

三重県歯公認スポーツデンティスト

三重県歯は、県内で予定されている各種スポーツ大会に備えるため、「三重県歯公認スポーツデンティスト」養成事業を立ち上げ、18年1月の17年度第2回学術研修会及び4月の18年度第1回学術研修会をスポーツデンティスト養成

公衆衛生関係研修会等の開催予定

▽第7回医科・歯科連携推進人材養成研修会(7/1 P.16参照)▽第67回三重県学校歯科衛生大会、18年度フッ化物応用研修会(8/23)▽18年度地域口腔ケアステーション対応力向上研修

(9/16・17)▽18年度食と健康フォーラム(10/28)▽第6回全国共通がん医科歯科連携講習会(12/16)▽第8回医科・歯科連携推進人材養成研修会(1/27)▽その他/第4回歯科医師認知症対応力向上研修、第10回みえ歯ートネット研修会、学校歯科保健先進地視察研修(日時未定)一等を予定している。

糖尿病と歯周病の関連調査

8月1日(水)～9月30日(日)を受診期間とし、治療日や定期健診日と同日に実施可能。歯科診療所における実施内容は、①歯科健診(県歯事業所歯科健診「一般健診票」を使用)②受診者への歯科健診結果の説明と事後指導(要歯科治療者には受診勧奨)となっている。

8020運動30周年記念ロゴマークの使用

使用に当たっては8020運動30周年を冠する事業にのみ使用。様式を変えてはならない。事前に使用申請し、日歯常務理事会の承認を得る。

三重県地域口腔ケアステーション設備整備事業補助金交付要領

1,210万円の予算で執行予定。VE機器(嚥下内視鏡)の補助は昨年度実績によれば最大7医療機関の見込み。購入補助は昨年度摂食・嚥下機能診断・口腔機能向上実践研修を修了し、購入補助対象から漏れた3名の会員が優先される。その他の予算(510万円)は口腔機能訓練や口腔ケア等を含む在宅歯科医療に必要な医療機器等の購入補助に充てられ、昨年度実績によれば申請の殺到が予想される。

【社会保障】(前田常務理事)



18年度診療報酬改定関連

6月3日(日)に歯初診(注1)の施設基準に係る院内感染防止対策の研修を実施(診療報酬改定説明会欠席者及び新入会員対象)した。今後、外来環・か強診・歯援診等の施設基準に係る講習会についても、経過措置期間等を踏まえて対応していく。審査支払機関からの報告では施設基準の届出に係る記載について今のところ大きな混乱はない。7月22日(日)のMDAセミナー開催時に『保険診療の手引』配布予定。

【医療管理】(桑名理事)

18年度歯科衛生士養成学校卒業者について

3校で合計91名が卒業予定。出身地は県下広範囲に渡っている。近年は南勢地域で求人が少なく、地元で就職先が見つからないために他地域へ就職する例もある。地元への就職希望については、極力かなうよう配慮されたい。

社会保険診療報酬の所得計算の特例措置(いわゆる四段階制)の利用状況等に関する調査

四段階制存続のために日歯が日医と連携して実施することとしたもの。無作為抽出によるが、対象となった場合は協力されたい。

18年度BLSヘルスケアプロバイダーコース(G2015)

10月14日(日)に開催する。修了証の有効期間は2年間なので、既修者も繰り返し受講されたい。

医療広告ガイドライン

6月1日(金)より新しい「医療広告ガイドライン」が適用されることとなった。三重県歯ウェブサイト医療広告関連情報や厚労省ウェブサイトに掲載されているので確認されたい。禁止される広告事項としては、患者の主観に基づく体験談、患者を誤認させる恐れのある術前術後写真及びイラスト等(いわゆるビフォーアフター)が挙げられるが、日歯でも情報を取りまとめて分かりやすい形で会員に周知する方針。

IT導入補助金(二次公募)

新たな医療機関ウェブサイトの開設やレセコン導入等に活用されたい(申請期限は8月3日(金)まで)。

救急医療情報システム運営状況・参加医療機関名簿について

昨年度の歯科案件は1,378件。前年度より65件増。今年度も引き続き協力されたい。

医療事故調査制度の現況報告（4・5月）

5月末現在で医療事故報告が累計997件、相談件数が累計5,117件、センター調査依頼件数が累計65件。

その他の報告

SECOM安否確認メールアドレス登録状況

6月20日(水)現在、会員859名中767名登録で

【広報情報】（太田常務理事）

最新歯科医療実態調査回収状況

最終的な回収率は69.3%で前回65.8%（15年11月実施）からは改善した。年齢別では今回40歳未満の回収率が100%だったことは感謝したい。50～70歳代以上の回収率の低下傾向が懸念されるが、今後も70%超の安定的な回収率を目指し会員各位の協力に期待したい。

登録率は89.29%。

協議事項

第24回三重県歯科保健大会の開催地について

稲本専務理事より第1回郡市長会議の議論を踏まえ、より望ましい日程の選択及び会場確保のために、次期開催地の決定時期を従来の10月より早めることが提案され、19年度の第24回大会開催地として13年以來6年ぶりになる松阪が候補に挙げられた。長井会長(松阪)はこれを快諾するとともに、運営に協力する郡市会員らが積極的に関与できるよう配慮することを求めた。

日程は連休を避けて19年11月10日(日)とする予定。



県立高等学校・学校歯科医の任期について

現在、県立高等学校（75校）に学校歯科医

（109名）を県歯より推薦し委嘱している。これまで学校歯科医が変更になる場合、事務手続上、学校が学校歯科医に対して解任届を持参または郵送していた。これは就任時に任期が定められていないためである。一方、学校医及び学校薬剤師については、過去に医師会及び薬剤師会からの申し出により1年任期の委嘱に変更されていたことが分かった。執行部はこれを機に医師会・薬剤師会と足並みを揃え、学校歯科医の任期を1年とすることを提案し、了承された。次年度に県立高等学校の全学校歯科医に対して一度解任届が出され、改めて1年任期の就任届が公布される運びとなる。



（広報情報委員・辻村政次郎 記）

第16回定時代議員会

2018年6月24日（日）

三重県歯科医師会館

保健衛生賞表彰／17年度決算を承認



6月24日(日)、第16回定時代議員会が開かれた。会長挨拶に続いて18年度三重県歯科医師会保健衛生賞の表彰が行われ、出席した受賞者に賞状と記念品が手渡された。選挙管理委員会の中西委員長は日歯会長予備選挙の選挙人について、6名の立候補者の当選が決まった旨を報告。補欠選挙人2名については鎌谷議長に一任され、執行部から大杉副会長と福森常務理事が指名された。田所会長は6月14日(木)・15日(金)の両日に開かれた日歯・第188回定時代議員会に

ついて詳しく報告。議事では、17年度会計決算について稲本専務理事が決算の概要を図示しながら解説し、17年度分税申告と合わせ満場一致で承認された。また、歯科保健文化賞受賞者については名張市教育委員会とすることが承認された。

2018年度三重県歯科医師会保健衛生賞受賞者



| | |
|-----------|------|
| 荻田修二氏 | 桑員 |
| 田中明氏 | 四日市 |
| 岩崎宏氏 | 四日市 |
| 北川弘二氏 | 鈴鹿 |
| 落合力氏 | 亀山 |
| 中西康之氏 | 津 |
| 樋口直人氏 | 津 |
| 長井雅彦氏 | 松阪 |
| 吉田昌夫氏 | 松阪 |
| 富田陽二氏 | 伊勢 |
| 芦野義人氏 | 伊勢 |
| 谷口清氏 | 鳥羽志摩 |
| 宮澤彰敏氏 | 尾鷲 |
| 紀宝町歯科保健PT | 南紀 |
| 小倉金敏氏 | 伊賀 |

選挙管理委員会報告



選挙管理委員会の中西委員長より、次期日歯会長予備選挙の三重県選挙人選挙で、長井雅彦氏(松阪)・村田省三氏(伊賀)・芝田憲治氏(四日市)・星野良行氏(桑員)・田口昇氏(伊勢)・鈴木晶博氏(津)が選出されたことが報告された。補欠選挙人2名については議場から議長一任の声が上がり、これを受けて鎌谷議長が執行部から大杉和司副会長と福森哲也常務理事を指名し、了承された。

会長報告

日歯・第188回定時代議員会

6月14日(木)・15日(金)の両日、日歯の第188回定時代議員会が開かれた。議事では17年度決算の他、裁定審議委員及び選挙管理委員の指名が承認された。なお、選挙管理委員には三重県歯から早川副会長が指名されている。

堀会長は挨拶の中で、この2年間で取り組んできた40課題を振り返るとともに、今年度の課題として16項目を挙げた。また、自民党の歯科議連及び財政再建特命委員会等に対して日歯としての考え方を伝えていることを報告。口腔機能管理が医療費の抑制に寄与することを訴える一方で、給付率自動調整・地域別診療報酬・後期高齢者の窓口負担を一律2割とすること等については慎重な姿勢を示している。

いわゆる“口腔ケア”という表現の整理についても説明。歯科専門職種が関与する「口腔機能管理」「口腔衛生管理」と、多職種が日常的に行う口腔清拭等の「口腔ケア」とを区分したうえで、それら全体を「口腔健康管理」と位置付ける考え方を示した。また、8020運動30周年記念事業として、①記念式典及びシンポジウムの開催(12/13) ②記念誌の発刊 ③映画『笑顔の向こうに』制作一等を行う旨も報告された。

代議員会に先立って5月30日(水)に開かれた予算決算特別委員会の質疑では、▽診療報酬決定に当たっての日歯説明資料▽日本健康会議へ

の関与▽電子カルテ及びHPKI等▽ICT化の推進一等について意見が交わされた。

「経済財政運営と改革の基本方針2018」

6月15日(金)に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)2018」について、日歯は即日プレスリリースを発出してこれに対する見解を示した。従来からの「生涯を通じた歯科健診の充実」に加え、入院患者や要介護者のみならず国民全体を対象とした口腔機能管理の推進、地域における医科歯科連携の構築が追記されており、「日歯の目指す方向性が国と共有できていることを高く評価する」とした。この他、プレスリリースでは▽医療提供体制の維持と消費税引上げ▽働き方改革に関連した歯科衛生士・歯科技工士の人材確保▽防災・減災と国土強靱化の推進に関連した歯科の役割▽予防・健康づくりの推進に当たっての歯科の貢献一等にも言及している。

日本歯科専門医機構の設立

4月2日(月)に日本歯科専門医機構が設立された。現在、日本歯科医学会には23の専門分科会が所属しているが、各学会の歯科専門医制度には、求められる知識や技能等に統一した基準がなく、認定される歯科専門医のレベルが学会ごとに異なること、名称から専門性の内容や水準が分かりにくいこと等の問題点が指摘されており、客観的評価を踏まえた根本的な見直しが

求められていた。機構では歯科の専門医制度を継続的に監督するとともに、質の向上のための支援や協力をを行う。

糖尿病と歯周病の関連調査

18～20年度の3年間、健康保険組合連合会三重連合会に所属している健康保険組合の被保険者・被扶養者のうち、特定健診より抽出した糖尿病、糖尿病予備群及び糖尿病要注意群の者約1,000名を対象に実施する。

県医師会との連携事業

昨年に続き第2回目となる三重県医師会との合同講習会を11月18日(日)に予定しているので参加されたい。診療報酬改定で診療情報連携共有料が新設されたことに対応して、医科・歯科相互の情報提供に係る文書様式を共同で作成中である。また、妊婦に対して歯科健診を推奨するためのポスター及びリーフレットを作成している。

議事

- 第1号議案 17年度三重県歯科医師会会計決算の承認を求める件
- 第2号議案 収益事業部門に於ける17年度分税申告に関する件
- 第3号議案 歯科保健文化賞受賞者に関する件



事業活動と管理部門についての会務報告の後、議事に移り、上程された3議案が全て可決された。第1号議案の17年度会計決算の説明では、稲本専務理事が概要についての資料を図示しながら解説。17年度の決算額は、経常収益約2億3,036万円に対して経常費用約2億3,935万円で、当期経常増減額は約899万円となった。第3号議案では歯科保健文化賞受賞者を名張市教育委員会とすることが承認された。

(広報情報委員・佐藤文仁 記)



2018年度

July

第4回理事会

2018年7月5日(木)

三重県歯科医師会館

次年度に向けた県行政への要望について協議

7月5日(木)、18年度第4回理事会が開かれた。この日は次年度に向けた県行政への要望事項について協議。前年度に歯科健診の環境整備と歯科衛生士需給対策を求めたことを踏まえて意見を交わした。田所会長は、厚労省が公表した診療行為別統計の概況や6月に開かれた日本歯科医学会の評議員会に加え、三重県医師会の青木会長が任期半ばで退任したことを報告。県医が新体制に移行した後も引き続き緊密な連携を取っていきたいと述べた。



公衆衛生委員会は今年度の「食と健康フォーラム」を10月28日(日)に開く旨を報告。日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック・田村文誉教授を講師に迎え、子どもの口腔機能発達不全症等についての講演を企画している。県医師会との連携に関連しては、医科・歯科相互の診療情報提供書の様式や妊婦歯科健診啓発の産科向けポスター等の案が提示された。また、稲本専務理事と羽根副会長からは、三重県歯科保健大会に向けた名張市及び伊賀歯科医師会との打合せについて報告があった。

委員会事業等報告

●社会保障委員会



【事業活動】社保・国保審査委員会(歯科) 歯科医師会連絡協議会(6/21)、新規自主懇談(6/28)【出席会議】新規集団指導、歯科医療機

関指導・監査等実施計画の打合せ(6/28)【報告事項】「受付エラー連絡票」の送付(支払基金)、医療費助成事業の概要、施設基準の届出状況等の報告(7/1 報告)

●医療管理委員会

【事業活動】歯科衛生士研修会(6/10)、歯科衛生士職業説明会(6/14)【報告事項】医療広告ガイドラインにおける対応の整理(厚労省)、復職支援講習会実施予定(9/30)、Yahoo!/Googleディスプレイ広告6月分結果報告、18年度「歯科衛生士インターンシップ及び歯科医師ジョブシャドウイング」希望一覧、歯科相談(7件)

●学術委員会

【事業活動】地域の口腔がんを考えるシンポジウム(6/17、貸会場)【報告事項】研修会・講習会、医薬品関連情報(HP)、16・17年度日歯生涯研修事業(修了・認定者リスト)、スポーツデンティスト養成研修会第1回DVD講習会(9/9、案内)、愛知学院大学歯学部附属病院との連携研修会

●公衆衛生委員会

【事業活動】鈴鹿警察署健康講演(6/27)、小学生の口腔内状況と生活習慣調査事業(津田小学校、6/28)、みえこどもの城キッズおしごと広場(6/30)、三重県がん診療連携協議会第3回医科歯科連携部会、三重県医科歯科連携推進人材養成事業「第7回医科・歯科連携推進人材養成研修会」(7/1)【出席会議】第1回食支援担当者会議(6/7)、第4回三重県小児セラピー研究会(6/17)、第1回公衆衛生委員会(6/28)【報告事項】歯と口の健康週間事業県審査の結果、第3回日本子ども虐待防止歯科研究会学術大会発表予定(広島、11/10)、糖尿病と歯周病の関連調査申込状況(6月末時点)、後期高齢者歯科健診事業(18年度登録歯科医院一覧)、第21回みえ摂食嚥下リハビリテーション研究会学術集会発表予定(7/14)、地域医療構想調整会議

その他の報告

1. 障害者歯科センター報告
2. 介護給付費等審査委員会(6/26)
3. 日学歯：第95回定時総会報告(6/27)
4. がん診療医科・歯科連携
5. 三重県医師会との連携
診療情報提供書様式の作成、妊婦健診における産科との連携(リーフレット、ポスター案)

議題

- 第1号：未来のトップアスリート応援募金への寄付金の取扱いについて
- 第2号：18年度三重県地域口腔ケアステーションサポートマネージャー雇用事業申請書について
- 第3号：入会申請について／玉田洋平(鈴鹿)
- 第4号：互助会入会申請について
- 第5号：互助会給付について(6/7～7/4申請分)

の活性化に向けた方策(「地域医療構想アドバイザー」の推薦)

●広報情報委員会

【事業活動】三重テレビ『とってもワクドキ!』出演、8/2放送分打合せ(7/5)、FM三重『はぴはぴ子育て』(放送、収録)【報告事項】医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律等の施行【協議事項】『日歯広報』「都道府県通信」原稿



●災害時の対応・体制に関する委員会

【報告事項】SECOM登録状況(7/2現在)、安否確認訓練(8/1)の実施

●日歯委員会報告

【税務・青色申告委員会】第3回税務・青色申告委員会(6/20)

協議事項

1. 19年度県行政等に関する要望事項について
2. 第23回三重県歯科保健大会について

2018年度 MDAセミナー／日歯・堀会長が特別講演

2018年7月22日（日） 三重県文化会館中ホール



7月22日(日)、三重県文化会館中ホールで三重県歯会員を対象とした総合的な講習会であるMDAセミナーが2年ぶりに開かれ、日歯・堀憲郎会長が「歯科界の明日へ向けて～これまでの10年とこれからの10年～」と題して特別講演した。

堀会長は冒頭に我が国の公的医療保険制度及び国民皆保険制度の歴史を概観したうえで、ゼロ年代には医療費全体が伸びていたにもかかわらず歯科医療費が減少していた事実を指摘。特に歯科医療技術評価の低さと初・再診料の医科・歯科格差が大きな課題であったと分析した。次いで自身が日歯・常務理事及び中医協委員として、超高齢社会に対応した歯科医療のあり方を探る中で、歯や欠損歯列の形態的な回復から口腔機能の維持・回復への転換を図ってきた経緯を振り返り、口腔機能に着目した診療報酬改定対応、そのためのエビデンスの収集と発信に努めてきたと述べた。さらに16年3月に発足した堀執行部では、歯科界の信頼回復に努める一方で、重要課題について所管横断的なボードを設置して取組みを進めてきたことを報告。特に中医協委員としての経験を活かしたC区分医療技術の評価や期中導入の仕組みの活用がCAD/CAM冠の保険導入等、歯科活性化の具体的な成果につながったことを詳述。加えて今改定で実現した「口腔機能低下症」「口腔機能発達不

全症」病名の導入や40円ルールの撤廃等を大きな成果に挙げた。直近の取組みとしては、歯科医療の医療費抑制効果についての発信や、「(口腔ケア含む)口腔機能管理」の概念整理、地域包括ケアシステムで歯科が役割を果たすための課題を提示。引き続き、オールデンタルで国民の期待に応える姿勢を強調した。

県歯役員による講習は4題。まず今年度から大きく見直された日歯生涯研修事業について蛭川理事が解説。見直しの背景にある歯科の専門医制度に係る動向についても解説したうえで、より多くの会員が「日歯生涯研修総合認定医」の条件をクリアできるよう8月のサテライト研修を企画した旨を説明。「e-learning研修」についても具体的に紹介し、積極的な履修を呼び掛けた。次いで、早川副会長が「安全な歯科医療を目指して」と題して、①偶発症に対する緊急時の対応 ②医療事故 ③医療相談 ④医療広告—等について講演。BLSの手技から医療事故調査制度の仕組み、医療に係る説明や契約の法的な解釈、医療広告の新しいガイドラインについて解説した。羽根副会長は今年度から三重県の委託を受けて実施される糖尿病と歯周病の関連調査事業について説明。その目的や対象者、調査に当たっての具体的な手順を丁寧に説明した。最後に大杉副会長と前田常務理事が登場。大杉副会長は三重県の平均点数が全国最下位に甘んじている背景にはレセプト件数が多いこと等がある旨を説明。総医療費自体は他県等と比べ悲観する状況にはなく、医療・介護ともに堅調に増加していることを強調した。前田常務理事は「保険診療の手引」完成を報告するとともに発出されたばかりの「疑義解釈(その5)」について説明。算定ルールを理解して実態通りの正しい請求を行うよう求めた。

クレジットカードなどで支払った場合の税務の取扱い

Q：電子社会となり、事業上の支出もクレジットカードや電子マネーによる決済の機会が増えましたが、個人歯科事業における税務の取扱いを教えてください。

A：所得税法第37条における「事業所得の計算上、必要経費」と認められる支出は、①売上原価、収入を得るために直接要した費用、②その年中の販売費及び一般管理費、③その他業務について生じた費用です。判例によれば、このほかの判断要素として、①業務との関連性、②支出の必要性、③金額の妥当性が相当程度認められることが必要です。

具体的には、レシートなど保存書類に基づき、所得税の観点から相手先、支出の内容、支出の目的、消費税の観点から課税取引、非課税取引、不課税取引、軽減税率区分などの事実を確認し、税法の規定に照らし、必要経費や消費税の適否を判断します。

1 クレジットカードでの支出

クレジットカードは事業所得の貸借対照表に計上されている普通預金で決済されるもの（以下「事業用カード」といいます）と生活用の普通預金で決済されるもの（以下「生活用カード」といいます）があります。

クレジットカードを利用したときは、利用先から「お買上げ明細(レシート)」などを交付されます。この「お買上げ明細」などには、購入年月日、商品名・サービス名、支払金額、消費税額の表示、書類の発行者名などが記載されていますので、税務上の原始記録となり保存の対象となります。例えば、事業上の消耗品等を購入するためにクレジットカードを利用した場合には消耗品費等の経費として経理をします。そして、事業用カードを使用した場合は未払金で経理をし、生活用カードを使用した場合は事業主借で経理をすることになります。

税務調査においては、必ず「お買上げ明細書」及び「クレジットカード利用明細書（金融機関の引落明細）」の提示を求められます。

2 電子マネーでの支出

電子マネーには、プリペイド（前払い）方式とポストペイ（後払い）方式があります。

プリペイド方式の電子マネーの場合は、カードに現金をチャージした段階では仮払金等とし、実際に利用した段階で支出額が経費又は生活費となり、仮払金等が減少します。

なお、勤務場所への通勤などのための少額なチャージは、チャージした時に旅費交通費又は生活費とすることも可能です。

ポストペイ方式は、クレジットカード機能等により、利用後に預金口座から引き落とされる方式です。電子マネーで購入した段階で経費又は生活費として未払金又は事業主借勘定科目で経理し、預金口座で決済した段階で未払金を減額します。

税務調査においては、必ず電子マネー利用履歴を確認しますので、印字して保存してください。

3 ポイントを使用した場合

マイレージやポイントを使って商品や消耗品を購入した場合の経理は、一般的には、ポイント使用分（レシートに表記）は「値引き」で経理します。



6月・7月会務日誌

Association Diary

6月

- | | | |
|--------|--|--|
| 2・3日 | 第46回産業歯科医研修会が東京都で開催され伊藤理事出席 | 愛知学院大学歯学部同窓会創立50周年記念式典・祝賀会に早川副会長出席 |
| 3日 | 第4回歯科助手講習会、院内感染防止対策講習会開催 三重県訪問看護ステーション連絡協議会役員会・総会・中央研修に福森常務理事出席 | 第4回三重県小児セラピー研究会に福森常務理事出席 |
| 5日 | 常務理事会開催 | 19日 日本歯科医学会第98回評議員会に田所会長出席 |
| 7日 | 第1回食支援担当者会議、第3回理事会開催 | 20日 日本歯科医師会第3回税務・青色申告委員会に太田常務理事出席 |
| 9日 | 第27回三重NST研究会世話人会・学術集会に大杉副会長出席 | 21日 議事運営特別委員会、社保・国保審査委員会（歯科）歯科医師会連絡協議会開催 |
| 10日 | 18年度歯科衛生士研修会開催 | 24日 第2回郡市市長会議、第16回定時代議員会開催 |
| 11日 | 伊賀歯科医師会総会に田所会長、稲本専務理事出席 | 27日 公益財団法人8020推進財団第15回評議員会に田所会長出席 |
| 14日 | 18年度歯科衛生士職業説明会開催 公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター18年度定時総会に桑名理事出席 | 日本学校歯科医会第95回定時総会に稲本専務理事出席 |
| 14・15日 | 日本歯科医師会第188回定時代議員会に田所会長、稲本専務理事出席 | 日本歯科医師会医療管理委員会に桑名理事出席 |
| 17日 | 地域の口腔がんを考えるシンポジウムに田所会長、羽根副会長出席 | 鈴鹿警察署「健康講演」で伊藤理事講演 |
| | | 28日 18年度歯と口の健康週間事業県審査、第1回公衆衛生委員会開催 |

7月

- | | | |
|----|--|--|
| 1日 | 三重県がん診療連携協議会第3回医科歯科連携部会、三重県医科歯科連携推進人材養成事業「第7回医科・歯科連携推進人材養成研修会」開催 | 川副会長出席 |
| 3日 | 常務理事会開催 | 5日 第4回理事会、第20回社会保険疑義事項検討会議、18年度歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール県審査開催 |
| 4日 | 日本歯科医師会第1回選挙管理委員会に早 | 第2回歯科技工士の養成・確保に関する検討会が東京都で開催され桑名理事出席 |



- | | |
|--|---|
| <p>11日 日本歯科医師会第3回社会保険委員会に大杉副会長出席</p> <p>12日 第23回三重県歯科保健大会第2回実行委員会開催 三重県小児保健学会プログラム委員会に羽根副会長出席</p> <p>14日 東海信越地区歯科医師会第1回専務理事連絡協議会が静岡県で開催され稲本専務理事出席 第21回みえ摂食嚥下リハビリテーション研究会学術集会・世話人会に福森常務理事出席</p> <p>16日 東海信越地区歯科医師会会長会議が東京都で開催され田所会長出席</p> <p>17日 第1回三重県保険者協議会に田所会長出席</p> <p>19日 新潟県へのベンチマーキングに羽根副会長出席 三重県後期高齢者医療広域連合運営検討会</p> | <p>議における歯科健康診査に関する講演に福森常務理事出席</p> <p>21・22日 日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト養成講習会（スポーツ歯科医学Ⅰ）に福森常務理事、浜瀬理事出席</p> <p>22日 18年度MDAセミナー開催</p> <p>23日 第76回国民体育大会三重県準備委員会第12回常任委員会・第7回総会、三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会第1回総会に田所会長出席</p> <p>26日 四日市南警察署「健康講演」で伊東理事講演</p> <p>29日 18年度三重県警察歯科医会定期総会、第4回三重県警察医研修会に警察医出席</p> <p>31日 常務理事会開催 地域包括ケア推進トップセミナーに田所会長出席</p> |
|--|---|

会員消息

Member's News

本会会員数 (8月1日現在)

| | |
|-------------|------|
| 正会員第1種 (一般) | 697名 |
| 正会員第2種 (勤務) | 35名 |
| 正会員終身 | 121名 |
| 準会員第3種 (法人) | 9名 |
| 準会員第4種 (直属) | 2名 |
| 長期の疾病等の会員 | 2名 |
| 計 | 866名 |

日歯会員数 64,858名 (6月30日現在)

新入会員



たまだ ようへい
玉田洋平先生 (7. 1付)
診 鈴鹿市算所2丁目9-19
グリーンフォレスト2-DE
ワイワイデンタル
クリニック 鈴鹿
電話 059-378-1288
FAX 059-993-0682
(鈴鹿)



ふかつ ゆうき
深津雄己先生（8. 1付）
診四日市市富田3丁目1-1
生川歯科
電 話 059-363-0012
F A X 059-363-0019
（四日市）

謹んでおくやみ申し上げます



湯浅友直先生（鈴鹿）
去る7月3日、お亡くなり
になりました。
享年88歳



にしむら しげお
西村茂子先生（8. 1付）
診鈴鹿市若松東2丁目
1-12
北條歯科医院
電 話 059-385-0201
F A X 同 上
（鈴鹿）



中川 茂先生（津）
去る7月27日、お亡くなり
になりました。
享年90歳

診療所名変更

桑名良輔先生（桑員）
医療法人良美会 桑名歯科

病院所在地・名称変更

桑名市総合医療センター
※旧：桑名西医療センター
桑名市寿町3-11
電 話 0594-22-1211
F A X 0594-22-9498

御 礼

7月の西日本豪雨の義援金募集につきまして、87件 総額1,361,392円を
8月31日付で日本歯科医師会に送金したことをご報告いたします。
皆様ご協力ありがとうございました。



新入会員プロフィール

Rookie's Profile

ただようへい

玉田洋平先生（鈴鹿）

1. 学歴

高校 私立鈴鹿高等学校
大学 奥羽大学歯学部歯学科
(2010年度卒業)

2. 卒業後の研修先・勤務先

2011年4月 愛知学院大学歯学部附属病院
臨床研修
2012年4月 医療法人愛健会エムデンタル
クリニック
2013年4月 医療法人AQUAもりもと
歯科クリニック
2013年7月 ワイワイデンタルクリニック
下呂開業
2013年9月 ワイワイデンタルクリニック
赤池開業
2018年4月 ワイワイデンタルクリニック
鈴鹿開業

3. メッセージ

歯科医師会会員として、地域の歯科医師、
歯科衛生士さんと協力し合い地域医療に貢献
していきたいと思っております。

私は5年程前から訪問歯科をメインとした
歯科医院を開業し、少しでもその地域の皆様
のお役に立てるようにと、歯科医療を中心と
したサービスを提供してまいりました。今ま
での経験を活かし、鈴鹿市の皆様にも訪問歯
科のサービスを提供していきたいと思ってお
ります。

私の歯科医師としての使命は、歯科医療を
通して関わる人全てが幸せになれるよう尽力
することだと思っております。いつまでも
諦めることなく健康で幸せな人生を歩んでい
ただけるよう、歯科医師の立場からサポート
していきたいです。「食べる幸せをいつまで
も 幸せを噛みしめられますように」これか
ら、この思いを胸に頑張ってまいります。

ふかつ ゆうき

深津雄己先生（四日市）

1. 学歴

高校 兵庫県立宝塚北高等学校
大学 広島大学（2006年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

2007年4月 大阪大学歯学部附属病院
臨床研修医
2008年4月 大阪大学歯学部附属病院
歯科補綴学第二教室

2013年4月 藤原歯科医院（大阪市）

2018年4月 生川歯科（四日市市）

3. メッセージ

この度、入会させていただくことになりま
した深津雄己と申します。義父の歯科医院を
引き継ぐため、妻の地元である四日市に大阪
から家族で越してきました。

あらゆるニーズに応えられるような歯科医



院を作り、地域医療に貢献できればと思っています。

学生時代はバスケットボール部に所属していました。今は、休日に小学生の息子と趣味の山登りや釣り等に出かけることが一番の楽しみです。

勉強中の身ではありますが、自分はどのように周りのお役に立てるかを常に考え、日々精進したいと思いますので、何卒よろしくお願ひ致します。



にしむらしげこ

西村茂子先生（鈴鹿）

1. 学歴

高校 私立メリノール女子学院高等学校
大学 松本歯科大学（2007年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

2008年4月 松本歯科大学病院
2009年 フローラル歯科クリニック
2011年 中村歯科医院
2013年 峰歯科矯正歯科クリニック
2016年 アキラ矯正歯科クリニック

3. メッセージ

歯科医師会を通じて、最新の歯科情報を取

得し、地域のかかりつけ歯科医としてお子様からお年寄りの方まで安心して通っていただけるよう明るく、優しくをモットーに努めていきたいと思っています。

私の趣味は愛犬との時間を楽しむことです。愛犬が歯周病になったことがきっかけで、現在、動物用歯磨き粉の開発に携わっています。動物と人間とは少し違う点もありますが、歯の健康を守る「歯科医師」という職業の経験を活かし、世の中に役立つような働きをしていきたいと思っています。





告知板

Information

愛知学院大学歯学部同窓会・朝日大学歯学部同窓会・松本歯科大学校友会 共催

第5回

女性歯科医師の集い

新たな一歩を踏み出そう！

～昨日より素敵なあなたへ～

三歯科大学女性協議会 主催

講演

愛される言葉力

～心に届く話し方、接し方～

講師
稲葉 寿美
フリーアナウンサー
(元東海テレビアナウンサー)

2018年

11月25日(日)

10:30～15:30 (受付10:00～)

対象 女性歯科医師 (出身大学不問)

定員 80名

場所 大名古屋ビルヂング 33階
オルクドール・サロン(東海東京証券)
名古屋市中村区名駅3-28-12

内容 10:30～ 開会・講演
12:00～ 昼食
13:30～ 座談会(女性とキャリア)
15:30 終了予定

会費 3,000円(昼食・お土産付)
当日集金させていただきます。

問い合わせ先

出身大学をお願いします

愛知学院大学歯学部同窓会事務局
TEL 052-763-1877

朝日大学歯学部同窓会(城所)
TEL 0532-52-4507

松本歯科大学校友会事務局
TEL 0263-54-1432

上記以外の大学の方は、
愛知学院大学歯学部同窓会
(052-763-1877)
までお願いします

申し込み締め切り 9月30日
(但し定員になり次第締め切らせていただきます)



互助会の現況

Mutual Aid Association

(18年6月1日～30日)

第1部（疾病共済）

| | | |
|-------------------|--|---------|
| 入会 1名 | 退会 1名 | 累計 712名 |
| 収入累計 188,498,840円 | { 繰越 188,497,340円 入金 1,500円 | |
| 支出 900,000円 | | |
| 残高 187,598,840円 | { 定期 138,000,000円 普通 49,598,840円 国債 0円 | |

療養給付：0名

死亡給付：1名

第2部（火災・災害共済）

| | | |
|-------------------|-------------------------------------|---------|
| 入会 1名 | 退会 1名 | 累計 718名 |
| 収入累計 164,396,429円 | { 繰越 164,396,429円 入金 0円 | |
| 支出 0円 | | |
| 残高 164,396,429円 | { 定期 110,690,000円 普通 53,706,429円 | |

災害給付：0名

(18年7月1日～31日)

第1部（疾病共済）

| | | |
|-------------------|--|---------|
| 入会 2名 | 退会 0名 | 累計 714名 |
| 収入累計 187,598,840円 | { 繰越 187,598,840円 入金 0円 | |
| 支出 840,000円 | | |
| 残高 186,758,840円 | { 定期 138,000,000円 普通 48,758,840円 国債 0円 | |

療養給付：2名

死亡給付：0名

第2部（火災・災害共済）

| | | |
|-------------------|-------------------------------------|---------|
| 入会 2名 | 退会 0名 | 累計 720名 |
| 収入累計 164,396,429円 | { 繰越 164,396,429円 入金 0円 | |
| 支出 0円 | | |
| 残高 164,396,429円 | { 定期 110,690,000円 普通 53,706,429円 | |

災害給付：0名

三重県歯科医師協同組合

購入希望の組合員の方は、当組合宛にお申し込み下さい。

三重県歯科医師協同組合ホームページからオンラインでも購入できます。

| | | |
|-------------------|---------|------|
| 歯科経理帳 | (12か月分) | 950円 |
| 収支日計表 | (100枚綴) | 620円 |
| 患者日計表 | (100枚綴) | 620円 |
| 領収書 | (100枚綴) | 470円 |
| その他、保険診療情報提供文書各種等 | | |

全協：第71回通常総会

6月14日(木)、千葉市内で全国国保組合協会(全協)の第71回通常総会が開かれた。加盟している全国136組合のうち116の組合から274名が参加し、三歯国保組合からは熊谷常務理事が出席した。真野会長は冒頭の挨拶の中で、業種別組織で

ある国保組合の特性を活かした事業の推進を求めた。議事では、▽17年度事業報告▽17年度一般会計収支決算▽17年度共同事業等特別会計収支決算▽17年度高額医療費共同事業特別会計収支決算一
等について審議された。

三歯国保組合：第145回臨時組合会



6月24日(日)、三歯国保組合の第145回臨時組合会が開かれた。中井理事長は冒頭の挨拶で、

今年度からデータヘルス計画(レセプト等のデータの分析に基づく加入者の健康保持増進のための事業計画)を実施する方針を明らかにした。今秋を目途に被保険者の疾病傾向等を分析し、効果的・効率的な保健事業の実施につなげる予定だ。また、今年度を実施される組合員所得調査と組合員資格確認調査について協力を求めた。この調査は20年度以降の国庫補助率算出根拠となるもの。その後、前田(和)副理事長からの17年度事業実績報告、宮田監事からの17年度事務監査報告に続いて議事に移り、決算等の議案が承認された。

三歯協同組合：第94回通常総代会



6月24日(日)、三歯協同組合の第94回通常総代会が開かれた。中井理事長は挨拶の中で、グルー

プ生命保険等の福利厚生事業の手数料収入が減少傾向にあることから、さらなる加入促進について理解を求めるとともに、協同組合ウェブサイトに掲載されているバナー広告に組合員価格等の特典が含まれていることも紹介。会員が活用することに期待を寄せた。17年度事業報告と17年度(株)エムディ決算報告に続いて議事に移り、協同組合の▽17年度決算関係書類▽17年度労働保険事務組合特別会計決算関係書類▽17年度剰余金処分一
等について審議され、いずれも全会一致で承認された。

国保組合の現況

2018年4月／5月

保険給付状況

| | | 18年4月 | | |
|---------------|-----|-------|------------|------------|
| | | 件数 | 費用額 | 保険者負担額 |
| 療養給付費 | 当月分 | 3,611 | 47,601,888 | 33,509,937 |
| | 累計 | 3,611 | 47,601,888 | 33,509,937 |
| 療養費 | 当月分 | 84 | | 282,618 |
| | 累計 | 84 | | 282,618 |
| 高額療養費 | 当月分 | 35 | | 3,420,438 |
| | 累計 | 35 | | 3,420,438 |
| 移送費 | 当月分 | — | | — |
| | 累計 | — | | — |
| 出産育児一時金 | 当月分 | 5 | | 2,100,000 |
| | 累計 | 5 | | 2,100,000 |
| 葬祭費 | 当月分 | 2 | | 230,000 |
| | 累計 | 2 | | 230,000 |
| 食事療養標準負担額減額差額 | 当月分 | — | | — |
| | 累計 | — | | — |
| 傷病手当金 | 当月分 | 20 | | 538,000 |
| | 累計 | 20 | | 538,000 |

| | | 18年5月 | | |
|---------------|-----|-------|------------|------------|
| | | 件数 | 費用額 | 保険者負担額 |
| 療養給付費 | 当月分 | 3,550 | 45,831,772 | 32,516,600 |
| | 累計 | 7,161 | 93,433,660 | 66,026,537 |
| 療養費 | 当月分 | 87 | | 325,448 |
| | 累計 | 171 | | 608,066 |
| 高額療養費 | 当月分 | 23 | | 2,903,312 |
| | 累計 | 58 | | 6,323,750 |
| 移送費 | 当月分 | — | | — |
| | 累計 | — | | — |
| 出産育児一時金 | 当月分 | 2 | | 840,000 |
| | 累計 | 7 | | 2,940,000 |
| 葬祭費 | 当月分 | 1 | | 150,000 |
| | 累計 | 3 | | 310,000 |
| 食事療養標準負担額減額差額 | 当月分 | — | | — |
| | 累計 | — | | — |
| 傷病手当金 | 当月分 | 20 | | 590,000 |
| | 累計 | 40 | | 1,128,000 |

収支状況

| | | 18年度18年5月累計 |
|--------|-------------|-------------|
| 区分 | 金額 | |
| 歳入合計 | 160,957,906 | |
| 歳出合計 | 54,925,524 | |
| 収支差引残高 | 106,032,382 | |

| | | 18年度18年6月累計 |
|--------|-------------|-------------|
| 区分 | 金額 | |
| 歳入合計 | 616,949,951 | |
| 歳出合計 | 137,409,056 | |
| 収支差引残高 | 479,540,895 | |

| | | 17年度18年5月累計 |
|--------|---------------|-------------|
| 区分 | 金額 | |
| 歳入合計 | 1,418,642,577 | |
| 歳出合計 | 1,051,710,073 | |
| 収支差引残高 | 366,932,504 | |

被保険者異動状況

| | | 18年6月30日現在 | |
|-----|-------|------------|--|
| 区分 | 被保険者数 | 前月との比較 | |
| 組合員 | 2,767 | 1 | |
| 家族 | 1,440 | △ 5 | |
| 計 | 4,207 | △ 4 | |

| | | 18年7月31日現在 | |
|-----|-------|------------|--|
| 区分 | 被保険者数 | 前月との比較 | |
| 組合員 | 2,758 | △ 9 | |
| 家族 | 1,441 | 1 | |
| 計 | 4,199 | △ 8 | |

編集後記

Editor's Note

この夏、ロシアで開催されたFIFAワールドカップは、日本代表のベスト16という活躍もあり大きな注目を集めました。小学校から大学までサッカーを続けてきた私は、日本戦のみならず毎晩繰り広げられる熱戦をテレビにかじりつきながら応援しました。大会前の日本代表はベテラン重視の布陣から“おっさんジャパン”と揶揄され、大多数がグループステージ敗退を予想する状況でしたが、ふたを開けてみれば初戦のコロンビア戦に勝利し

た勢いに乗ってグループステージを突破。決勝トーナメントでは優勝候補のベルギー相手に大健闘し、我々サポーターに夢を与える感動的な戦いを見せてくれました。4年後に期待が繋がる結果となりましたが、さらなる飛躍のためにはやはり世代交代が不可欠でしょう。歯科界も同様に私たちの世代が底上げを図り、新しい時代を切り開いていくことが大切だと感じました。

(広報情報委員・辻村政次郎 記)

三重県歯科医師会無料職業紹介所について

三重県歯科医師会では厚生労働大臣の許可を受けて、歯科医療技術者（歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士・歯科助手）を対象とした無料職業紹介事業を行っています。職業紹介を希望される場合、求職は働く意欲がある方なら常勤、パートを問いません。申し込みにより希望と能力に応ずる職業に速やかに就くことができるよう極力お世話をいたします。

●求職者の場合

- ・ 所定の求職票に必要事項を記入し、下記の無料職業紹介所に提出する。
- ・ 来館または電話にて、求人者の閲覧をする。
- ・ 条件が合えば面接を行う。

●求人者の場合

- ・ 所定の求人申込書に必要事項を記入し、下記の無料職業紹介所に提出する。
- ・ 来館または電話にて、条件の合った求職者を探す。
- ・ 合否結果については、当紹介所に結果報告する。



※ 下記へ連絡いただければ関係書類を送付します。

公益社団法人 三重県歯科医師会
 歯科医療技術者等無料職業紹介所
 〒514-0003 津市桜橋2丁目120-2
 TEL 059-227-6480

詳しくはWEBで！

[検索](#) [三重県歯科医師会無料職業紹介所](#)



K.B. MUTSUMI



光重合型コンポジットレジン

PROGRESS

プログレス

2種類のサイズの微小真球状のDUOS(デュオス)ファイラーを高密度充填。物性と審美性の両面を追求し、かつ粘性をおさえ操作性にも優れた、高強度タイプのユニバーサルコンポジットです。

- 色調：エナメル、A1、A2、A3、A3.5、B2、B3、C3
- 内容量：4g
- 管理医療機器：20300BZZ01386000



フッ素配合光重合型コンポジットレジン

PROGRESS PLUS

プログレス・プラス

プログレスにフッ素をプラス。2種類の特殊球状ファイラーが高密度に配合されているので着色・変色に強く、研磨面の凸凹が少なくなり、天然歯に近い艶やかさと滑らかさを再現します。

- 色調：A1、A2、A3、A3.5、B2、B3、C3
- 内容量：4g
- 管理医療機器：218AFBZX00018000



フッ素配合光重合型コンポジットレジン

PROGRESS FLOW

プログレス・フロー

浅い・狭い・複雑・見にくいなど、充填の困難な部位にも簡単に充填できるフッ素配合フロータイプ。CR充填のベース材にも最適。前歯・白歯を選ばず使用が可能。

- 色調：A1、A2、A3、A3.5、B3
- 内容量：1.8g
- 管理医療機器：218AFBZX00017000

製造販売元

睦化学工業株式会社

〒510-0804 三重県四日市市万古町8-9

☎059-331-2354(代) ☎059-331-1044

<http://www.mutsumikagaku.co.jp>

愛知県医療信用組合は、歯科医師のための「相互扶助」の金融機関です。

昭和37年設立の「歯科医の歯科医による歯科医のための組合」です。

●ご預金●

- ★市中銀行より利率の高い預金
普通預金、積立預金、定期預金
- ★将来の貯蓄にメリット大 など
- ★キャッシュカードは全国の金融機関並びに大手コンビニATMでも引き出しできます

●ご融資●

- ★歯科医師会入会金ローン
- ★開業資金
- ★運転資金、設備資金
- ★自動車ローン
- ★後継者の学資ローン など

詳細はホームページをご参照ください。

愛知県医療信用組合

検索

<http://www.iryoushin.com/>



Shinkumi Bank

信用組合

しんくみ

愛知県医療信用組合

〒460-0002

名古屋市中区丸の内三丁目5番18号

愛知県歯科医師会館6階

TEL:(052) 962-9569 FAX:(052) 951-8651

三重県歯科医師会会員の
皆様へ

72th
Anniversary



まごころこめて
**快適な
節電計画のご提案**

最新の補助金活用・税制優遇をご案内

補助金事業部では設計・申請・施工を一貫して行い、コストカットし採択率を高めます

8年連続
販売台数 **全国1位**

弊社は2017年度環境対策型エアコン販売台数
で8年連続全国1位を継続しています。
創業72年の実績と経験で、安心をお届けしま
す。

※2017年10月ダイキン工業 全国特約店 第1位

10年保証

今年で15年目を迎えました10年保証
そして2014年2月より、さらなる安
心の15年保証。より長く安心して
エアコンをご利用いただけます。

お客様の声

風当たりも解消され、
電気代も以前と比べ
3分の2となり、かな
り削減できています。

山崎歯科クリニック様



10年保証もあるから、
万が一故障してもす
ぐに対応してもらえ
るのは安心ですね。

兵藤歯科様



HPのトップ画面から406件閲覧できます。動画もWEBで。



DAIKIN お問い合わせは AM9:00~PM6:00

ダイキン工業特工場 業務用エアコンのことなら

フリーダイヤル
0120-130-047 **東3冷凍機**
当社HP: www.tousanreitouki.com

ZIP-FM77.8

ZIP-FM NOW ON AIR ナレーション：イルカ





SOMPO
ホールディングス
保険の先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜の三重県オリジナル自動車保険

安心・安全のお参りつき

『THE クルマの保険 三重』



赤目四十八滝 (写真提供:赤目四十八滝渓谷保勝会)



四日市工場夜景 (写真提供:四日市観光協会)



伊勢神宮 (写真提供:神宮司庁)



賢島 (写真提供:伊勢志摩国立公園協会)

損保ジャパン日本興亜は、三重県と「地域産業の支援等に関する包括協定」を締結し、三重県民の皆さまの安心・安全なくらしの実現に向け、協働した取り組みを行っています。

特長① 安心補償

地震・噴火・津波
車両全損時一時金特約が付帯されます！

特長② 交通安全

安心・安全のお参りつき！ 全国初！

特長③ 社会貢献

三重県の災害ボランティア活動の
支援に貢献できます！ 全国初！

【引受保険会社】



SOMPO ホールディングス | 保険の先へ、挑む。
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

三重支店 津支社 〒514-0004 三重県津市栄町3-115
損保ジャパン日本興亜ビル6F TEL 059-226-3011
公式ウェブサイト <http://www.sjnk.co.jp/>

- ★本取組みは2016年12月の発売から1年間を実施期間とします。以降はこの商品の普及状況を勘案して実施の継続を検討します。また、予告なく終了することがありますので、あらかじめご了承をお願いします。
- ★「THE クルマの保険 三重」は、「個人用自動車保険」または「一般自動車保険」に「地震・噴火・津波 車両全損時一時金特約」を付帯したプランのペットネームです。
- ★「THE クルマの保険 三重」はご加入者さまの交通安全を祈願する商品ですが、「THE クルマの保険 三重」にご加入された皆さまに事故が発生しないことをお約束するものではありません。
- ★損保ジャパン日本興亜は、特定の政治や宗教団体とは無関係であり、信仰等をお勧めすることは一切ありません。

会員好評受付中!

mint

三重インターネットサービス

ブロードバンドが未来をひろく!

mintはインターネットをトータルにサポートします。

<http://www.mint.or.jp/>

お問い合わせは

MDT 三重データ通信株式会社

TEL : 059-223-1818

E-Mail : mint@mint.or.jp

Thinking ahead. Focused on life.



Spaceline EX

Human Centered Design - 人が中心

変わることなく進化する、それが Spaceline のコンセプトです。
人が中心 という不変のテーマはそのままに、ユニバーサルデザインを根幹とし、
より一層の機能性、操作性、快適性を追求した新たな Spaceline が誕生しました。

Debut

発売

株式会社 モリタ

大阪本社 大阪府吹田市重水町3-33-18
〒564-8650 T 06. 6380 2525
東京本社 東京都台東区上野2-11-15
〒110-8513 T 03. 3834 6161
お問合せ お客様相談センター 歯科医療従事者様専用
T 0800. 222 8020 (フリーコール)

製造販売・製造

株式会社 モリタ製作所

本社工場 京都府京都市伏見区東京南町680
〒612-8533 T 075. 611 2141
久御山工場 京都府久世郡久御山町市田新珠城190
〒613-0022 T 0774. 43 7594
鳥取工場 鳥取県倉吉市谷608
〒682-0954 T 0858. 24 0005

販売名: スペースライン
標準価格: 4,510,000円～(消費税別途) 2017年11月21日現在
一般的名称: 歯科用ユニット
機器の分類: 管理医療機器(クラスII)
特定保守管理医療機器
医療機器認証番号: 226ACBZX00018000

www.dental-plaza.com